

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 5月 11日

事業所名 オールケア寝屋川ひかり

保護者等数(児童数)17名 回収数 15名 割合 88.23%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					日頃より整理整頓を行っている
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					基準を満たしている
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%					全面バリアフリーにしている
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%					計画にあった支援を行うよう努めている
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	100%					季節や個々の体調の状況に合わせて工夫している
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	26.60%	46.60%	13.30%		必要性を感じていない	感染に気をつけ、地域と交流をしていく
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					丁寧に説明していく
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%				いつも丁寧に報告していただきありがとうございます。	ノートや送迎時に連携をとっている
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	40%	46.60%	13.30%		必要と感じない	感染予防に努め、保護者参観を続けていく
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%					今後も苦情やクレームについて迅速に問題を改善、対応していく
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					ノートや送迎時、電話での申し送りに努めている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	80.00%	13%		7%		今後、ホームページの更新も行い、SNSを利用していく
14 個人情報に十分注意しているか	100%					契約時に同意書をいただき、細心の注意を払っていく	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%					マニュアルなど保護者にお渡ししている
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	60%	40%				定期的に訓練を行い、内容を知らせる
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	93.00%	7%			ハイに二重丸！	楽しんでいただけるよう、質の向上に努める
	18 事業所の支援に満足しているか	100%					ご家族と連携を図り、満足していただけるよう日々精進していく

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 5月 11日

事業所名 オールケア寝屋川ひかり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		物の配置を工夫し、整理整頓を心掛けている	安全に導線確保ができるよう、常に環境整備を行っている
	2 職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			より安心していただき、充実した支援ができるよう人材確保に努め、専門性を上げていきたい
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		段差もなくバリアフリーの設備がされている	段差もなくバリアフリーの設備がされている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		会議にてスタッフ間で話し合い、共有するようつとめています	PDCAサイクルについて更にスタッフへの周知を徹底していく
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		アンケートやモニタリング時に頂いた意向を活用し改善につとめています	アンケート結果をしっかり受け、業務改善に努めていく
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページにて公開している	継続していきます
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	<input type="radio"/>		法人内の内部監査にて業務改善にとりこんでいる	内部監査の評価結果にて業務改善につとめる
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		事業所内研修や外部研修があれば周知し参加している	今後も積極的に参加していく
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		定期的な面談を行い、スタッフに周知し以降の計画を作成している	モニタリングやアンケートでの課題をスタッフ同士で考えより良い計画作成に努めます
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		契約時よりアセスメントシートを作成し、必要時に更新している	スタッフ皆で意識し、適宜アセスに目を通し把握できるように努める
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		会議にてスタッフ同士で提案している	より具体的な内容を思案し、ていく
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		会議等でスタッフ間で話し合い提案しあっている	更に新しい活動ができるよう工夫していく
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	<input type="radio"/>		会議にてスタッフ同士で提案している	きめ細やかな支援ができるよう心がける
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	<input type="radio"/>		個別支援計画に組み込み、個々の特性を把握しながら支援に努めている	更に新しい取り組みができるよう努めていく
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		朝礼・終礼時に流れの確認をしている	流れだけでなく当日来所予定の利用児の把握もしていく
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		<input type="radio"/>	送迎や勤務時間終了により終礼が難しいため、記録により周知している	翌日の朝礼で再度周知し、良い支援ができるよう努める
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		行った支援は記録にのこしています	日々の記録を参考に次の課題へと繋げ、より細やかな記録にしていく
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		定期的にモニタリングを行い、計画も見直しを判断している	今後も継続していく	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	<input type="radio"/>		日々創作活動やレクリエーションへ参加しています	今後、スタッフとも共有しあいながらバランスを考え総則の内容に沿った支援を行う	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者はじめ、普段から関わっているスタッフや看護師が参加している	今後も各ご利用者様にとってサービス向上のために相応しい者が参画していく
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		関係機関を意識している	ご家族様が予定等についてお知らせくださり、定期的に学校ホームページの行事予定も確認している。メールチェックも怠ることなく、学校等からの連絡を見逃さない習慣が出来ている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		グループ会社とも連携をとっている	現状の確認、指示書の共通認識等、家族様・病院・社会資源で電話・FAXなど都度情報を交換している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		事業所見学等、必要時にはお話しもお聞きする。	保護者同意の上、見学や情報共有ができよりよい支援に繋がられるよう努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		グループ内では見学や一日体験を設け、他事業所に関しても必要であれば情報交換の場を設けている	今後も個人情報に十分配慮しながら、保護者了承の上、提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関へは必要に応じて助言や研修を受けている。	研修で習得したことは、スタッフにも周知していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		秋祭り、一般参加のイベントを設ける	地域の小学校とのコミュニケーションはご家族様も望まれる方もおられるため、地域に根差した事業所として地域連携を考える。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		以前は通所連絡会等に参加していたが、コロナ禍になり開催なし。	状況に応じて今後も積極的に参加していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		経過記録や送迎時等に直接お話を聞き、日ごろの様子やご希望を開けるようにしている	今後も保護者との連携を図り、共通理解を持てるよう努める。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要時に行っている。	保護者様の対応力という意味で、ニーズを聞き出すことができていない。コミュニケーション不足にならないよう、モニタリング等の時間を活用し潜在的ニーズを探る。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に重要事項説明書等により説明を行っている。	変更時はお手紙や直接説明できるよう努める。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		モニタリングや送迎時に対応している。	必要時に応じて、その都度時間を設けて対応していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ禍でより難しい現状ではあり、希望されない保護者もおられる。	希望者には参観等、感染状態を見ながらできる事を開催できるようにしたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		報告があれば責任者や役職者が迅速に対応できるよう努めている。	今後も迅速に対応できるよう努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		不定期ではあるが、ホームページのブログやInstagramを使用し、事業内容を発信している。	今後も積極的に配信していく。
	35	個人情報に十分注意している	○		配慮している。	スタッフに対しても注意喚起していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域連携についてはプロジェクトとして継続して取り組みたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	契約時に説明し、変更があればその都度お手紙にて周知している。	それぞれのマニュアルも作成している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	安全管理委員会が主となり災害を想定した訓練を行っている。	継続し行い、前回の反省点を活かし次の訓練へつなげていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	外部研修から持ち帰り、毎年研修を行っている。	今後も研修を行い、スタッフの意識向上に努める。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	定期的に必要性を考え、個別支援計画にも記載している。	契約時や必要時には、保護者にも説明を行い記録も残していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	保護者の聞き取りと、意思の指示書にて把握している。	今後も保護者からの聞き取りを行い、変化があれば随時対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	安全管理委員会などでも話し合い、周知できるようファイリングしている	今後もスタッフ間で周知し、事故防止に努める。